

百の診療所より一本の用水路を

劇場版

荒野に希望の灯をともし

朗読 石橋蓮司／語り 中里雅子

取材 柿木喜久男／大月啓介／アミン・ウラー・ベグ

CG 平野雄一／音効 渡辺真衣／大島亮／演奏 中村幸

編集 櫻木まゆみ／撮影・監督 谷津賢二／構成・制作 上田未生

文化庁文化芸術振興費補助金／独立行政法人 日本芸術文化振興会
企画 ペシャワール会／製作 日本電波ニュース社2022年/日本/カラー/90分

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き様を追うドキュメンタリーの完全版！

武力で平和は守れない

医師 中村哲 現地活動35年の軌跡

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。なぜ医者が見つけ続けた中村の生き様の中にあり、私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、

我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えで人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？ 戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、

そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死…。中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていくだろう。

— [劇場版] について —

この映画は、2022年に完成した作品で [DVD版] とは異なっており、2019年中村哲さんが凶弾に倒れた後の、アフガニスタンの状況を描いています。

町制施行70周年記念事業

映画「荒野に希望の灯をともし」舟形町上映会

令和7年2月16日(日) 舟形町立舟形小学校体育館

①10:30 ②14:00

満席の際には次回におまわり頂くことがあります

鑑賞券 おとな 1,000円
中高生 500円
小学生以下無料

本来の鑑賞券 おとな1500円、中高生800円
舟形町の補助で特別料金になります



【前売鑑賞券のお求めは】

舟形町中央公民館、舟形町B&G海洋センター、舟形町生涯学習センター、舟形町農村環境改善センター

【主催】映画「荒野に希望の灯をともし」舟形上映実行委員会(舟形町青少年育成町民会議)

舟形町青少年育成推進員、舟形小学校PTA、舟形中学校PTA、地区小学校校外生活委員、舟形町スポーツ少年団、舟形中学校、舟形小学校、舟形町ほほえみ保育園、長沢地区連合町内会、舟形地区連合町内会、富長地区連合町内会、堀内地区連合町内会、舟形町防犯協会、舟形町民生児童委員協議会、もがみ南部商工会舟形支部、最上地区交通安全協会舟形支部、舟形町消防団、舟形町老人クラブ連合会、舟形町保護司会、人権擁護委員

【後援】舟形町、舟形町教育委員会

【協力】TUY テレビユー山形

【お問合せ】0233-32-2246(舟形町中央公民館)